

1

涸沼浄化小学校連絡会議





平成25年度の活動報告
茨城町立石崎小学校

2

石崎小学校の取り組み

涸沼が汚れている

↓

涸沼の美しい姿を取り戻せ!

↓


さまざまな取り組み



- 1 クリーン作戦
- 2 総合的な学習の時間での涸沼を守る取り組み
- 3 涸沼の浄化を訴えるカルタとり大会

3


(1) クリーン作戦



実施日: 6月 7日(金)
10月 18日(金)

方法

- 1・2年生 学校やその周辺のゴミ拾い
- 3年生 学区北側の道路ぞいのゴミ拾い
- 4年生 涸沼と涸沼につながる道路ぞいの美化
- 5年生 中石崎から飯塚までの道路ぞいの美化
- 6年生 若宮から金沢までの道路ぞいの美化



<はじめに>

1 これから私たち、石崎小学校の涸沼浄化の取り組みについて報告します。

私たちの住んでいる石崎小学校の学区は、涸沼の北側に面し、景色の美しい親沢鼻をもつ涸沼とは関わりの深い地域です。また、学区には、涸沼の支流である若宮川も流れ、私たちは魚とり、虫とり、生活科や総合的な学習の時間などを通して自然に触れてきました。

私たちが大好きな涸沼が、近ごろ汚れてしまっていると聞きます。そこで、昔泳げるほどきれいだったという涸沼を取り戻すために、私たちは、児童会活動、総合的な学習の時間の活動を通してさまざまな取り組みをしてきました。この取り組みを紹介したいと思います。

2 今年度、石崎小学校では次のような活動を通して美しい涸沼を取り戻そうとしてきました。

- 1 クリーン作戦
- 2 総合的な学習の時間での涸沼を守る取り組み
- 3 涸沼の浄化を訴えるカルタとり集会

大きく分けてこの3つの活動です。

では、それぞれの活動について説明したいと思います。

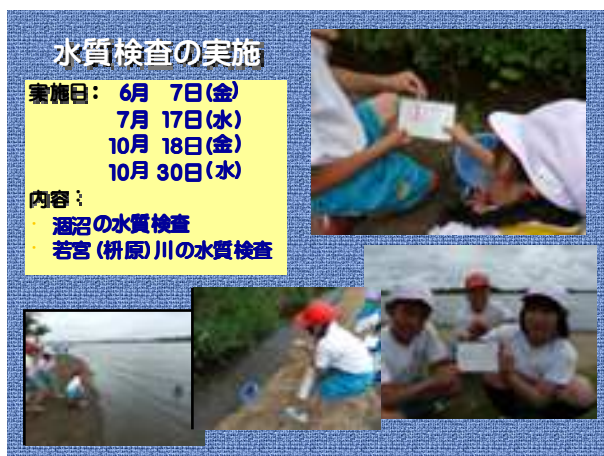
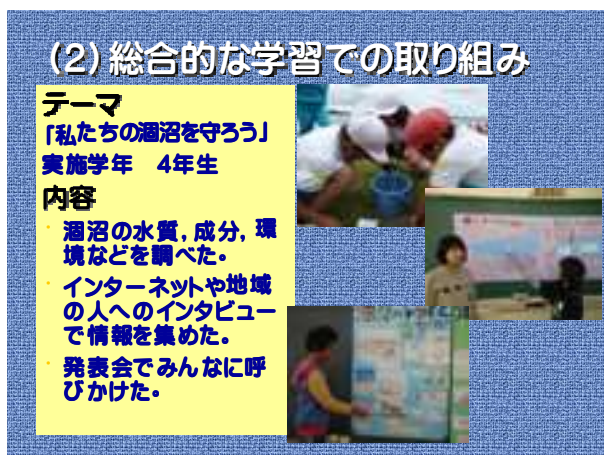
<涸沼浄化についての3つの取り組み>

3 1つ目はクリーン作戦です。

これは、毎年恒例になっている児童会の計画による行事で、今年度は6月7日、10月18日に実施しました。

1・2年生は、学校内、その周辺のゴミ拾い、3年生は、学区北側の道路ぞいのゴミ拾い、4年生は、涸沼と涸沼につながる道路ぞいの美化活動、5年生は、中石崎から飯塚までの道路ぞいの美化活動、6年生は、若宮から金沢までの道路ぞいの美化活動と、全校児童がそれぞれのやり方で涸沼を含む地域をきれいにしました。

4 クリーン作戦を行って気づいたのは、道路わきの草むら・林の中に空き缶やビニール袋、ペットボトル、たばこの吸いがらなどのゴミが多かったことです。見えなければよいといったゴミがほとんどで、通行する人や車のドライバーのマナーが悪いなと感じました。



また、親沢鼻などには、観光客がバーベキューをして後片付けをせず、ビニール袋や割りばしなどのゴミを散らかしていった跡がありました。つりをしていた方に聞いてみると、地域の人はこのゴミをいつも拾ってくれますが、遠くから来た人のマナーが悪いそうです。地域のみなさんがきれいな涸沼を守ろうと、協力してがんばっているのが分かりました。

5 2つ目は総合的な学習の時間での取り組みです。今年度の4年生は、「私たちの涸沼を守ろう」というテーマで涸沼を調べました。

始めに、涸沼に流れ込む川や涸沼の水質調査で、COD検査薬を使って水がきれいかどうかを調べました。

次に、涸沼が今どのようなになっているのか、汚れる原因は何なのか、私たちや地域の人、その他の人たちは、何ができるのかをインターネットや資料、いろいろな人の話を聞いて調べました。

最後に、発表会を開いて涸沼のすばらしさ、水や環境を守る大切さを発表しました。調査で分かったことをもとに、環境をよくする呼びかけもしました。

その具体的な取り組みを次に紹介します。

6 水質検査は6月7日(金)、7月17日(水)、10月18日(金)、10月30日(水)に行いました。

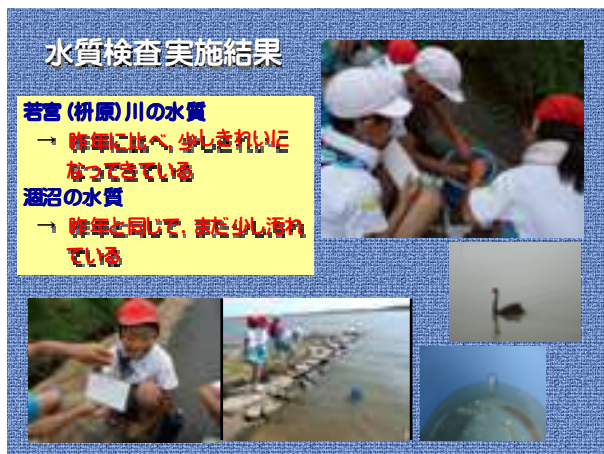
場所は、涸沼の親沢鼻付近、若宮川(栴原川)の2か所を調べました。

COD検査薬、水質検査用のきれいなバケツ、ひも、水温計、時計などを用意し、なるべく水がにごらないよう、そっとバケツで汲み上げ、砂などがしずむのを待って、みんなで正確に測りました。

7 検査の結果、若宮川(栴原川)7月のCOD値が5~10、10月のCOD値が0~5でした。昨年のCOD値10に比べると、少しかれいになってきているようです。しかし、川の途中に多くのごみがあったので気になりました。今までの若宮川のようにもっともっときれいになってほしいと思いました。

また、親沢鼻で涸沼の水質を調べると、6月のCOD値が10以上、10月のCOD値が5~10と、昨

7

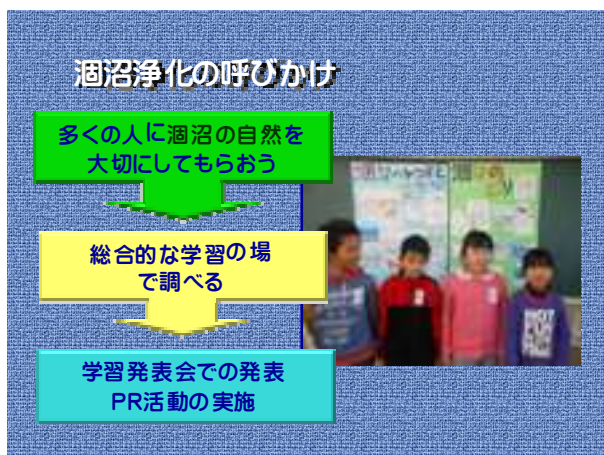


年同様、汚れていることが分かり、とても残念でした。

若宮川（枅原川）もInuzumiも、いろいろな生き物が集まるようなきれいな水であり続けるように、私たちが守っていきたいと感じました。

8 Inuzumiで水質検査をしたり、社会科で水の大切さを学んだりしたことで、わたしたちは、Inuzumiのことを多くの人に知ってもらい、関心をもってもらいたいと考えました。そこで、総合的な学習の時間でそれぞれがInuzumiについていろいろな見方で調べて、たくさんの人に伝えることにしました。

8

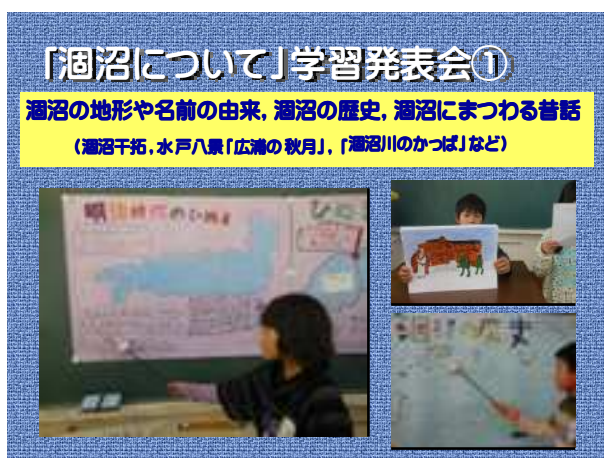


<学習発表会>

9 学習発表会では、グループごとにInuzumiについて調べたことを発表しました。調べた内容は「Inuzumiの地形や名前の由来」「Inuzumiの歴史」「Inuzumiにまつわる昔話」「Inuzumiの生き物（植物、魚、鳥、昆虫、ヒヌマイトンボなど）」などです。

「Inuzumiの地形や名前の由来」を調べたグループは、Inuzumiの大きさや深さや地形の特徴、海水と淡水が混じる関東で唯一の汽水湖であること、Inuzumiの名前の由来をインターネットで調べ、まとめていました。

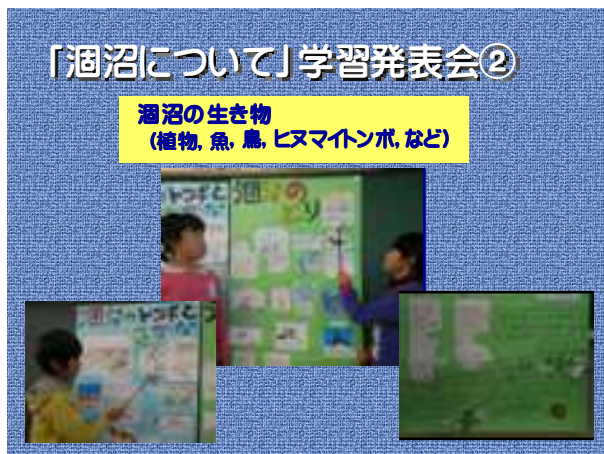
9



「Inuzumiの歴史」を調べたグループは、Inuzumiを干拓して水田にしたこと、その干拓での苦勞を社会科で学習したことと比較しながらまとめていました。また、『Inuzumi川のかっぱ』という昔話は、紙芝居にして発表し、楽しく学ぶことができました。Inuzumiは、昔から地域の人々にとても愛されてきたことがよくわかりました。

10 「Inuzumiの生き物」の発表では、Inuzumiが汽水湖である特徴から、海水にすむ魚も、淡水に住む魚も入りまじり、たくさんの貴重な魚がいることがわかりました。また、その中でもハゼ類などは、水の中にある有機物を食べてくれるので水をきれいにしてくれることに気づきました。しかし、ブルーギルなどの外来魚が増え、昔からInuzumiにいる魚が減っているようです。そのほかに、ヒヌマイトンボは絶滅危惧種に指定され、ウナギやヤマトシジミのようなInuzumiを代表する生き物も水

10

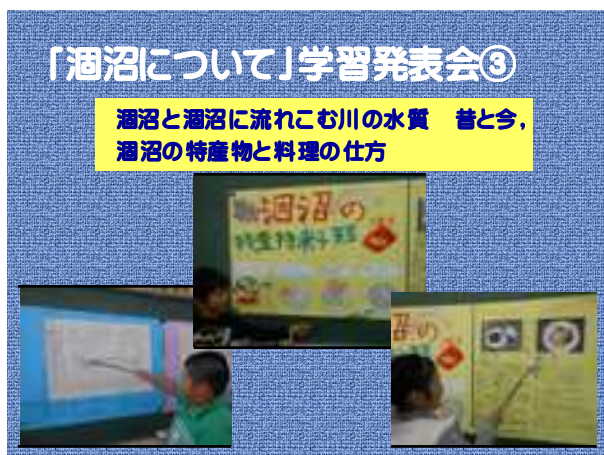


生植物も、水質のよごれや環境の悪化から、だんだん少なくなっていることも知りました。

また、涸沼に生息する鳥の種類も多く、季節によって見られるわたり鳥がいることが分かりました。その中のオジロワシは、国の天然記念物に指定されているなど、とても貴重な鳥が身近な涸沼に生息していることを誇りに思いました。

11 「涸沼や涸沼に流れこむ川の水質」を調べたグループは、過去10年間の水質や水の透明度を調べ、それらを折れ線グラフにし、水質の悪化を訴えていました。

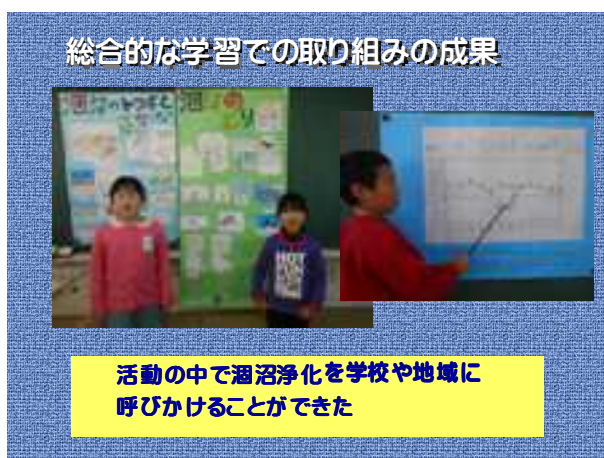
11



「涸沼の特産物と料理の仕方」では、各家庭で食べられているシジミ料理やウナギ料理など、祖母や母にインタビューしたり、インターネットで調べたりして、作り方のレシピを紹介していました。「シジミチャウダー」や「シジミスパゲッティ」など、実際に自分で調理してシジミの美味しさをみんなに伝えました。

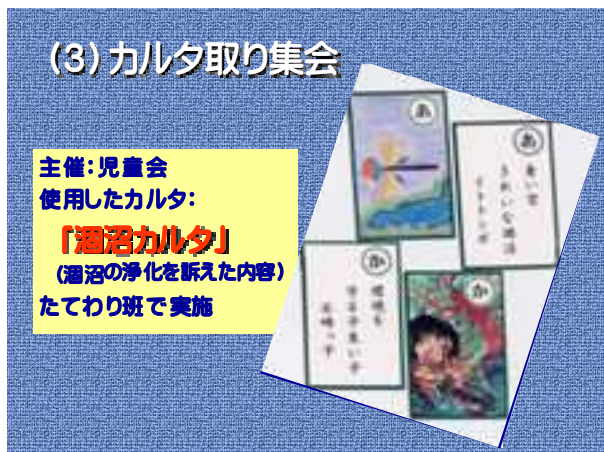
どのグループも涸沼に関する調べ学習を通し、この涸沼を守るためにしなければならないことは何か、私たちにできることは何なのかを真剣に考え始めました。

12



<活動の成果>

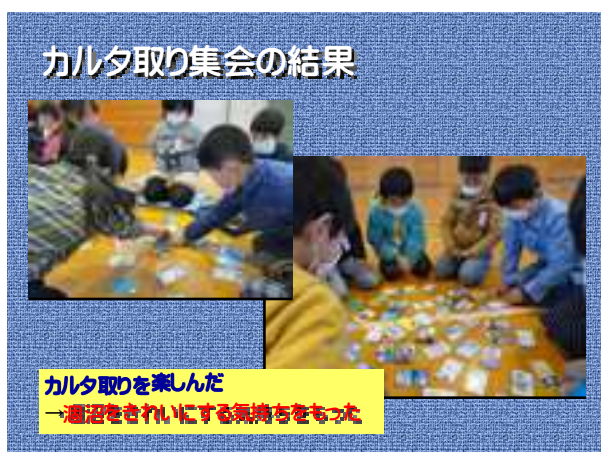
12 総合的な学習の時間の取り組みの成果としては、「涸沼」をテーマごとに、いろいろな角度から調べたことにより、今までより涸沼のことを深く知ることができました。その結果、私たちの地域にある涸沼に、これまで以上に関心と愛着をもつようになりました。そして、この貴重な資源の宝庫である涸沼を守りたいという気持ちが強くなり、より広い地域の人たちに涸沼浄化を訴えるきっかけとなりました。これによって、一人でも多くの人々が涸沼浄化に関心をもってくれるといいなと思っています。



13 3つ目はカルタとり集会での涸沼浄化の呼びかけです。毎年、冬の時期に児童会が中心になって実施しています。

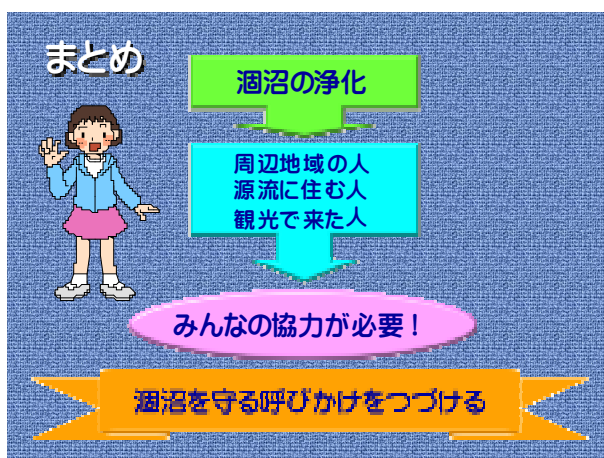
今年度は、1月15日（水）に行いました。

使ったカルタは、平成9年に石崎小学校の先輩たちの手で作られた「涸沼カルタ」というカルタで、涸沼の浄化をうったえた内容になっています。たてわり班で実行し、毎年楽しく行っています。今年も涸沼浄化の意識をより高めてもらうため、放送でカルタのできたわけとその内容を紹介し、絵や言葉についても考えてもらえるようにしました。



14 カルタとり集会を行った結果、みんなが楽しく遊ぶ中で、知らず知らずのうちに涸沼をきれいにする気持ちや涸沼を大切にすることを覚えたのではないかと思います。

雨の日などに遊べるようにクラスに配ったり、地域の行事に利用してもらったりしているので、これからますます涸沼浄化の輪が広がっていくと思います。



<活動のまとめ>

15 この取り組みを通して、涸沼をきれいにするには、私たちだけでなく、地域の人、涸沼に流れ込む川の周辺に住む人、観光で来た人など、いろいろな人の理解や協力が必要なが分かりました。

そのために、私たちはこれからも涸沼をきれいにする呼びかけを続けていきたいと思っています。また、私たち自身も涸沼を守る活動を続けていきたいと思っています。

